

キクの病害虫の発生状況（5月中下旬）

1 白さび病

巡回調査では、発生は確認されませんでした（図1）。本病は、キクの品種によって発病に差があるので、発病しやすい品種では防除を徹底してください。また、多湿条件が続くと発病しやすくなるので、これからの梅雨入りに備え、予防散布を心掛けてください。

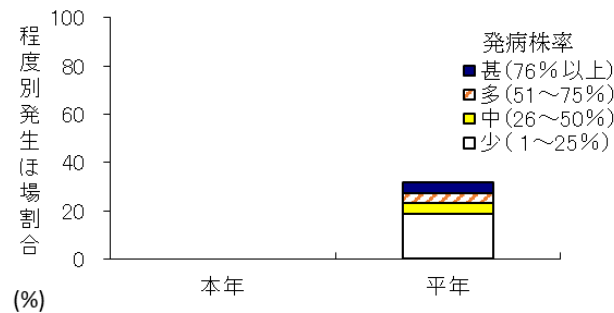


図1 白さび病の発生状況

2 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図2）。ほ場をよく観察し、発生が多くなった場合には、速やかに防除を実施してください。また、アブラムシ類は、CMVなどのウイルス病を媒介するので注意が必要です。

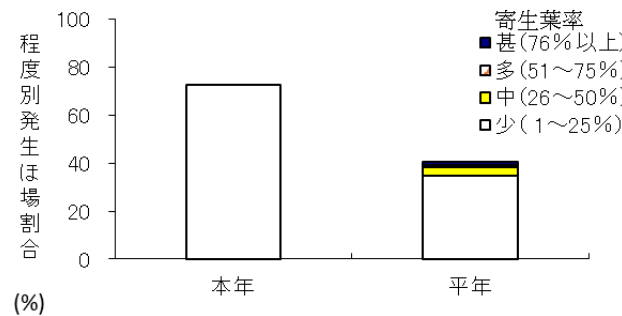


図2 アブラムシ類の発生状況

3 ハモグリバエ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図3）。上位葉での発生に注意し、低密度時から防除を実施してください。

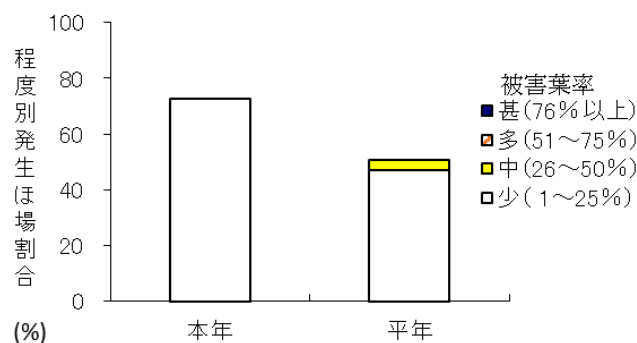


図3 ハモグリバエ類の発生状況

4 アザミウマ類

巡回調査における発生ほ場割合は、高い状況でした（図4）。ほ場周囲の雑草が発生源となることが多いので、除草を徹底してください。発生種がミカンキイロアザミウマの場合は、効果の高い薬剤が少ないので、薬剤の選択に注意してください。また、本種は、TSWV等のウイルスを媒介するので注意が必要です。

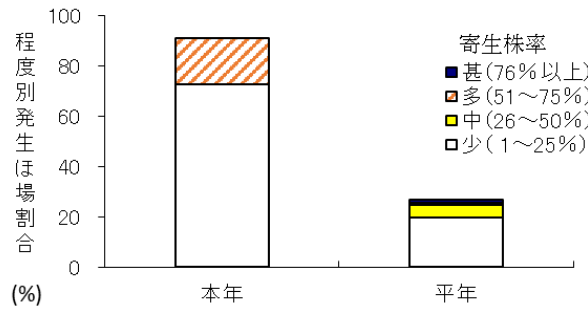


図4 アザミウマ類の発生状況

5 ハダニ類

巡回調査では、寄生は確認されませんでした（図5）。多発すると防除が難しいので、ほ場をよく確認して、低密度時から防除を徹底してください。また、薬剤によっては、感受性が低下している可能性があります。薬剤防除を行った場合には、防除の2～3日後に葉裏を観察し、効果が十分でない場合には、異なる系統の薬剤で防除を行うなど適切に対応してください。

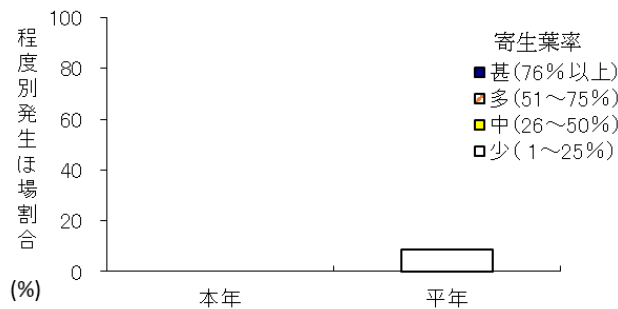


図5 ハダニ類の発生状況

6 オオタバコガ

巡回調査では、寄生は確認されませんでした。フェロモントラップ調査では、誘殺数は平年並でした（図6）。成虫の飛来が8地点中4地点（福島、伊達、中島、新地）で確認されています。ほ場をよく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください。

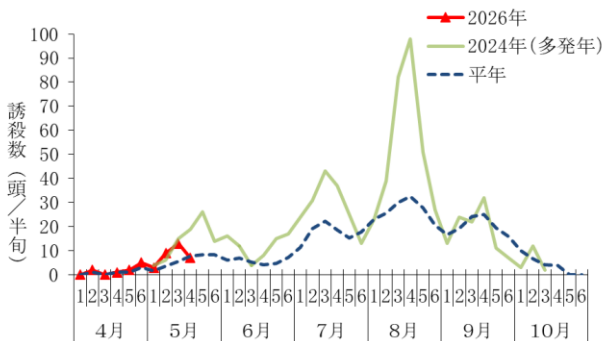


図6 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況 (伊達市保原町:キク)
※平年のうち4月のデータは2025年のみ



写真1 キクに寄生するオオタバコガ

注意が必要な病害虫

■アザミウマ類

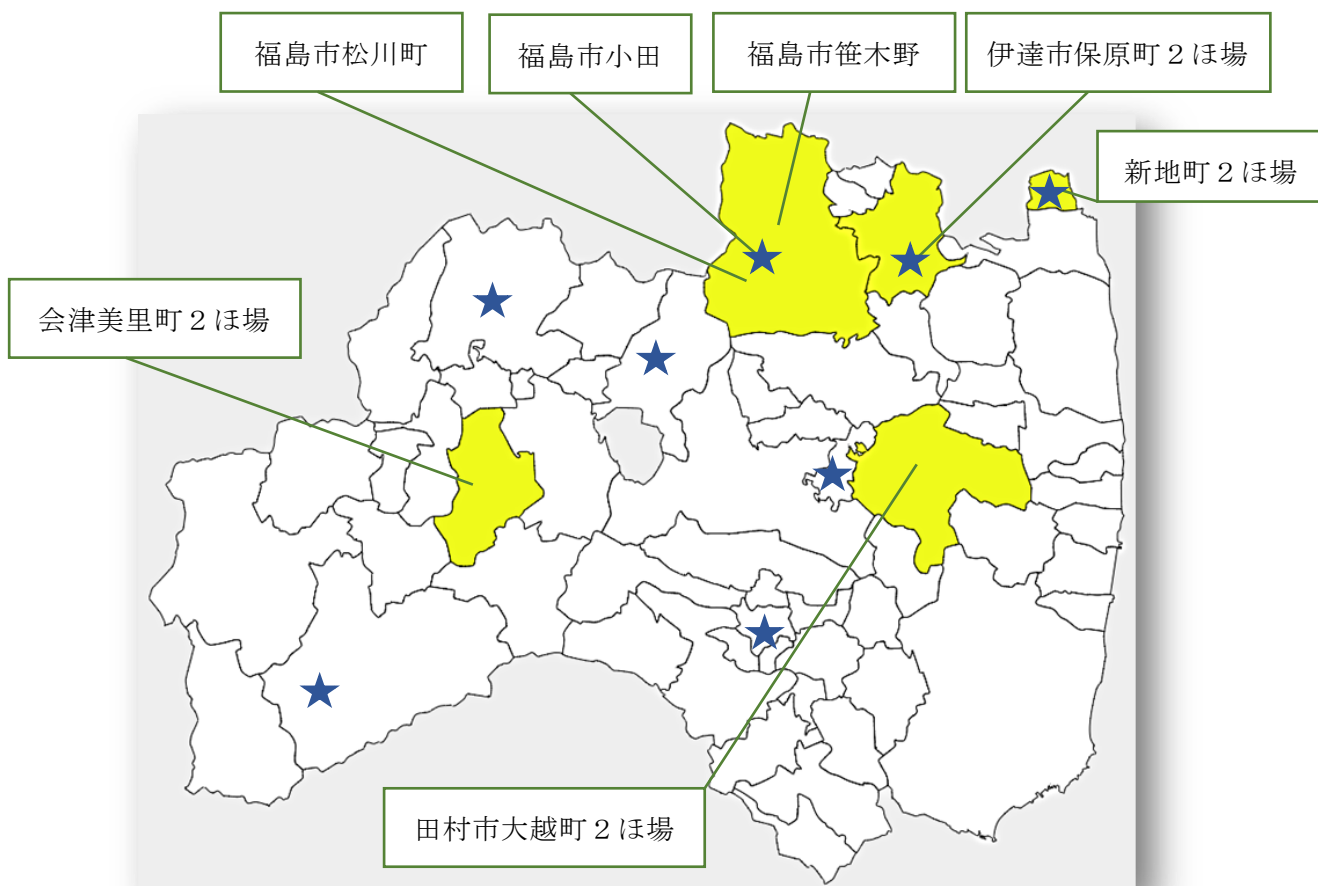
5月中下旬の調査において、アザミウマ類の寄生株率が平年 26.9%に対して、90.9%と非常に多くのほ場で発生がみられています。寄生種はミカンキイロアザミウマやクロゲハナアザミウマです。今後の高温によって急増する可能性があるため、ほ場における生長点のケロイド症状や葉裏のかすり傷症状をよく確認し、こまめに薬剤散布を実施しましょう。

病害虫防除所ホームページでも情報を記載しているため、下記の URL も参考にしてください。

【令和8年度病害虫防除情報 アザミウマ類】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/747026.pdf>

※キクの巡回調査は、下記の 11 か所を巡回調査地点としております。



★ : オオタバコガフェロモントラップ設置箇所 (トマト、ピーマンほ場合む)

● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709

Fax:024-958-1727

e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp